

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 2 月 17 日(水) ~ 平成 22 年 2 月 23 日(火))

平成 22 年 2 月 24 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

- スペースシャトル「ディスカバリー号」打上げ日を延期 【米】
2 月 16 日(火)(米国時間、以下同じ)、米国航空宇宙局(NASA)は、3 月 18 日(木)に予定されていた、山崎宇宙飛行士が搭乗するスペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-131/19A ミッション)の打上げ日を、4 月 5 日(月)に延期すると発表した。打上げ延期の理由は、ケネディ宇宙センター周辺で継続していた寒波による低温の影響で、スペースシャトルの軌道制御システム(OMS)及び姿勢制御システム(RCS)を損傷する可能性があることから、ディスカバリー号のオービタ整備棟(OPF)からシャトル組立棟(VAB)への移動が延期されたため。
- スペースシャトル「エンデバー号」の帰還 【米】
2 月 8 日(月)9 時 14 分(世界標準時、以下同じ)に米国航空宇宙局(NASA)により打ち上げられたスペースシャトル「エンデバー号」(STS-130/20A ミッション)は、約 14 日間にわたるミッションを終えて 2 月 22 日(月)3 時 20 分にケネディ宇宙センターへ帰還した。今回のミッションでは、結合モジュール「トランクウィリティー」(ノード 3)、観測用ユニット「キューポラ」が輸送され、3 回の船外活動により国際宇宙ステーションに取り付けられた。